【フローランを使用する方へ 大切なお知らせです】

◎お薬を作る作業を始める前に、必ず本説明書を確認してください

◎本説明書の1から6までの手順が完了するまで、注射器に針を取り付けないでください

「フローラン専用溶解液 専用アダプター」を用いたフローランの調製手順

＜携帯型輸液ポンプを使用する場合の手順＞

1 ゴム栓をアルコール綿で消毒する

溶解液のビンのふたを開けアルコール綿でゴム栓を拭いて消毒します。

2 アダプターの包装シールをはがす

アダプターの包装シールをはがします。この時アダプターは包装から取りだしません。また手順2～4ではアダプターの内部、接続部等に触れないようにしてください。

3 溶解液のビンにアダプターを付ける

包装を付けたまま、アダプターの内側にあるプラスチックの針を溶解液のゴム栓にまっすぐに差し込みます(まっすぐ差し込むと自然に中心に入ります)。

カチッと音がしたら、アダプターがはまったことを確認し、包装を取り外します。その後、アダプターの接続部をアルコール綿で拭いて消毒します。

4 アダプターに注射器を取り付ける

ここでは針は用いず注射器を直接アダプターに接続します。溶解液を吸い込む時に、最初に空気を吸い込む必要はありません。

アダプターの下部を押さえて固定させて、注射器をアダプターに押し込みながら時計回りに回します。ストップがかからないため、いつまでも回りますが、注射器が1回転するように回せば接続できています。

裏面に続く

5 溶解液を注射器にすべて吸い込む

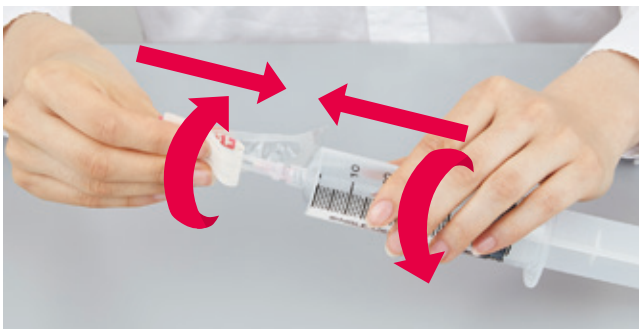
ビンを上にし、溶解液をすべて注射器に吸い込みます。

6 アダプターから注射器を外す

溶解液をすべて吸い込んだ後、**注射器の先端を上に向けて、**アダプターの下部を押さえながら注射器を取り外します。外す時は**反時計回り**に回します（溶解液が数滴ビンに残りますが問題ありません）。

＊薬液を調製する場合は 7 へ　＊溶解液を直接注入する場合は 11 へ

7 注射器に針を取り付ける



注射器の先端に手を触れないように、注射針を注射器に取り付けます。

8 フローランのビンに溶解液を注入する

フローランのビンのふたを開け、アルコール綿でゴム栓を拭いて消毒します。続いてゴム栓の中央部に注射器の針を**まっすぐに**突き刺し、溶解液を注入します。

9 薬液が透明になるまで静かに振り混ぜる

注射器を刺したまま、粉末が溶けて薬液が透明になるまで、泡立たないよう静かに振り混ぜます。

色がついたり、全部溶けない場合、その薬液は使用しないでください。

10 注射器で薬液をすべて吸い込む

薬液が透明になったらビンを上にして、薬液を注射器にすべて吸い込みます。

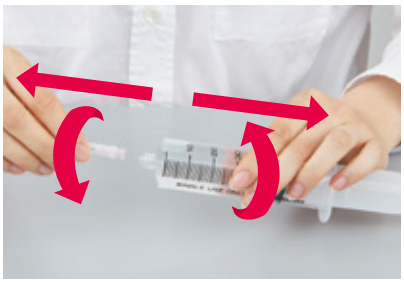
針先が液面から上に出ると、空気を吸ってしまうので、上に出ないよう注意してください。

＊複数のフローランを調製する場合は、8 ～ 10 の手順を繰り返してください。

調製したフローランをカセットに注入する *製品のタイプをご確認ください

スミスメディカル社製のチューブ

11 注射器から針を外す



注射器の先端に手を触れないように注射器から針を外します。

溶解液のみを直接カセットに注入する時にはこの操作は不要です。

12 注射器をカセットに接続して注入する

カセットのチューブに注射器を接続します。

ニプロ社製のチューブ

11

溶解液のみを注入する時には針を取り付けます。調製した薬液の場合は 10 の手順の針を付けたまま注入します。

12 注射器を側管に刺し、溶解液を注入する

フィルター付き延長チューブの側管に注射器を刺して溶解液を注入します。

ニプロCAP-10F専用チューブ

11

溶解液のみを注入する時には針を取り付けます。調製した薬液の場合は 10 の手順の針を付けたまま注入します。

12 注射器を側管に刺し、溶解液を注入する

薬液バッグの側管に注射器を刺して溶解液を注入します。

製造販売元
グラクソ・スミスクライン株式会社

NP-JP-EPP-PINF-210002-P2310N
改訂年月(2023年10月)